

BookMark

2013年2月号 (通巻第58号)

城西大学水田記念図書館報

図書館ホームページ <http://libopac.josai.ac.jp>図書館メールアドレス library1@josai.ac.jp

TwitterID @lib_josai

図書館ツイッターのQRコードはこちら→

twitter.com/lib_josai

地形図の活用

経済学部非常勤講師 田嶋 豊穂

国土交通省国土地理院が発行する二万五千分の一地形図は、全国を4,339面の地形図でカバーしている。このたび図書館ではこの地形図を一括購入した。

図書館で以前購入した地形図は、昭和58年度に全国整備が完了したもので、昭和40年代から昭和50年代に発売された。しかし平成15年(2003)11月から新しい図式による地形図が発売されはじめ、購入が待望されていた。

新しい地形図にはいくつかの変更点がある。博物館・美術館などの記号が新設され、居住地等の文字がゴシック体になって全体的に見やすくなった。

しかし最も大きな特徴は経緯度の基準の変更である。平成14年に改正測量法が施行され、従来の日本測地系にかわって世界測地系が採用されたのである。日本測地系は明治政府によって定められ、全国に基準点を設けて天文観測によって決定したものだった。これに対して世界測地系は、VLBIや人工衛星の観測によって判明した地球の正確な形状と大きさに基づき、世界的な整合性を持たせて構築された経度・緯度の測定の基準である。この世界測地系の採用によって、東京付近では経度が約-12秒、緯度が約+12秒変化した。距離に直せば北西方向へ約450mずれたのである。

しかし膨大な枚数の地形図を、スチール引き出しから一枚一枚取り出して探すのは手間がかかる。目的の場所が漠然としている場合などには、国土地理院の「2万5千分の1地図情報閲覧サービス」を活用するのが賢明である。閲覧したい地域の位置をクリックすることで簡単に画像を得ることができる。地形図作製の技術的發展により、デジタル化が進んだことの恩恵である。目的地が決定してから、図書館で該当の地形図を取り出して見ることを勧める。

平成23年3月11日の東日本大震災以来、地形図の役割が大きく見直されている。津波災害への対応で最も重要なのは避難先の高度の確認である。それが地形図に描かれた等高線によって明らかに読み取ることができる。

またこの震災では関東地方でも海岸線・内陸の沼地・旧河道などで液状化現象が発生し、予想外に大きな被害を蒙った。これについては、過去の地形図を参照することが重要になる。明治以後の開発によって、河川の付け替え、山の切り崩し、海や沼沢の埋め立てなど大きく変化した土地の条件を、現在の地形図だけで判断するのは難しいが、幸い当館では『明治前期手書彩色関東実測図』(1階地図コーナー 291.038//Me25)を所蔵している。新旧の地形図を比較して見ることで、問題の土地を指摘することが可能になるだろう。

都市を中心に調査するためには、北海道から沖縄まで県単位で編集されている『日本図誌大系』(3階参考図書 291.03//N77)を活用したい。但し引用されている地図が五万分の一、二万五千分の一と時代によって違うので注意を要する。

旧版の二万五千分の一地形図をみると、購入時の価格が一枚[70円]と余白に記載されている。当時のタバコ一箱分の価格であった。現在の370円(三色刷り)で一括購入すると、普通車1台分に相当する価格になる。一枚当たりの単価は安いが一括購入すると大きな金額となる。せっかくの資料である。大いに活用したいものだ。

地形図の探し方は次ページに載っています。

2月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

図書館開館時間

□=9:00~21:00

■=9:00~19:00

■=9:00~17:00

■=休館日です



地形図の探し方 ～国土地理院の「2万5千分の1 地図情報閲覧サービス」を活用～

1. 「2万5千分の1 地図情報閲覧サービス」で目的地を検索できます。国土地理院HP (<http://www.gsi.go.jp/index.html>) にアクセス→「地図・空中写真」をクリック→『2万5千分1 地図情報閲覧サービス』から探します。

※この地図情報は平成20年10月以降更新されていませんのでご注意ください



例えば「越生」の地形図を見たいときは索引図の「東京」→「越生」と絞り込んでいきます。



「越生」の地形図は「東京 9 号-3」にあることがわかりました。

2. 城西大学OPACでキーワードに「東京 地形図」と入力して検索します。検索結果から、「東京:1:25,000地形図」をクリックして詳細画面を開きます。

<図書>

トウキョウ : 1:25,000 チケイス
東京 : 1:25,000 地形図
(1:25000地形図 / 国土地理院 [編]; 56)

詳細画面の一覧から「越生」を探し、資料番号「4201134318」「東京 9 号-3」をメモします。

地図コーナー	9-3	454.9	4201134318	禁帯出	越生
地図コーナー	9-4	454.9	4201134329	禁帯出	飯能

3. 地形図は1階の地図コーナーの引き出しに資料番号順(北から南の順)に入っています。自由に取出して閲覧してください。(貸出は不可。) 閲覧が終わったら、必ずもとの資料番号順になるように戻してください。

今回購入した地図の一覧は「国土地理院刊行地図一覧図(一般図) H25.1.1 現在 - 裏面」

(<http://www.jmc.or.jp/map/ichiran/ura/ura.html>)より確認できます。

※世界測地系に対応した地形図の作成には時間がかかるため、すべてが新しい体系によって更新されたものではありません。今回図書館で購入した地図は平成23年10月1日更新のものです。各地域の更新された年が一覧図の枠の中の数字で表されています。今後更新される地形図はその都度購入していきます。

著書紹介 『プレゼンテーション概論：実践と活用のために/ 柴岡信一郎・渋井二三男著』

ビジネス総合学科教授 渋井 二三男

近年、企業などで Microsoft 社の PowerPoint に代表されるようなソフトウェアを使用したプレゼンテーションの機会が増えてきています。もはやパソコンは、使えて当たり前という時代になってきました。こうしたソフトを使ったプレゼンテーションのノウハウを習得することは、これから社会で活躍するうえで重要なスキルの一つとなるでしょう。

そこで本書は、初めて学ぶ人でもわかりやすく、アニメーション機能まで含めて解説した教科書として、誰でも活用しやすいようにしました。プレゼンテーションの基礎理論、導入法などを Microsoft 社の PowerPoint2010 を中心に紹介しています。各項目は図解付きで細かな部分まで説明し、一つ一つの機能がわかるように書き上げました。同社 PowerPoint の他のバージョンでも本書の内容である程度は使いこなせるように工夫されています。

本書は大学・専門学校の学生ばかりでなく、ポスターセッションの方法、スライドの作成法など、社会人にも役に立つ情報が満載の教科書です。本書の活用で、皆様から「プレゼンテーションが面白くなった」「使えるようになった」という声が聞ければ何よりの喜びです。



本書は
3階 007.63//Sh17
に配架されています。

防災研修を行いました

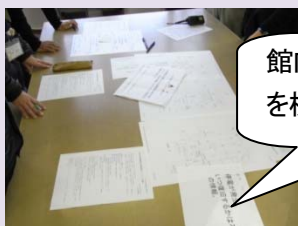
昨年12月25日に防災研修を行いました。今回の研修は一般の避難訓練と違って「災害の時にどう避難するか」よりも一歩踏み込んで「災害時にどのように判断するか」を考えていくものです。

大地震の発生後、時間経過とともに様々なアクションが提示され、それに対して状況判断、支持、声掛け、避難誘導、人員搜索、本部報告などの様々な局面をイメージ体験するという方式で行われ、その後ブレインライティング法を用いて分析、評価しました。

研修には図書館スタッフのほか、経理課や営繕課、美術館からも参加していただきました。

シミュレーション進行

- ① グループの中で図書館員の役割を決めて名札を付ける。
- ② 記録係を決めて行動や状況などを記録する。
- ③ 班ごとに異なる状況が示されるので、それにより行動を起こす。
- ④ 防災本部からの避難指示や、こちらから状況報告することを想定。



館内マップを見ながら対応を検討していきます。

ブレインライティング法を用いたまとめ作業

各人がシミュレーションで気づいた反省点などを書き出します。

時間制限を設けて用紙が一巡するまで意見を出していき、その後「同意できる」と思うものを評価して点数ごとにグループ化。それをさらに班でまとめて発表する「ブレインライティング」という方法で行いました。



研修での意見

- ・「心構え」と「事前の決めごと・決まりごと（マニュアル・備品等の配置）」双方の周知徹底が重要。
 - ・不確かな情報もあるため状況判断が重要。救助器具、避難誘導、防災用品などに慣れておくことも大切。
 - ・状況により避難誘導のルートも変わる。場合によっては学生にも救助を手伝ってもらう必要がある。
- などの意見が出されました。

大きな災害時にはいつも同じことが起こるとは限りません。常に想像力をもって対応していくことの重要性を一同再認識した研修でした。図書館では継続的に研修を行って防災意識を高めています。

学生のみなさんも参加できますので、次回の研修ではぜひ体験してみてください。

また、今回の研修を踏まえて、館内各所に防災掲示も設置しています。

1. 大きな揺れを感じたら**机の下にもぐる**。本棚・窓ガラスから離れる。
2. 揺れが収まったら**職員の指示に従い避難を開始する**。
3. 避難するときは**エレベーターは使わない**。

皆さんも普段から意識しておきましょう。



今月の展示「本について知ろう」

図書館にある本は多くの方が手に取るため、時には擦り切れたり壊れたりもします。今回は、そういった場合にどんな材料を使ってどのように直しているか、知られざる図書館の一面「本の仕組みと修理」について展示しています。

普通に使っていては決して見られない、正真正銘の本の『中身』や修理道具など見えない部分を公開しています。

期間中は実際に修理途中の資料を展示しますので、毎日見ていると進捗状況が分かるようになっていきます。

また、地域相互協力館の合同研修会も開催し、修理に関する技術交流も行います。



図書館追悼展示「城西大学名誉理事長 水田清子先生」特集

名誉理事長水田清子先生が2013年1月4日逝去されました。水田清子先生は、城西大学創立者で初代理事長・学長の水田三喜男先生が逝去された1976年にその後を引き継いで理事長となられ、2004年5月に退任後、名誉理事長として相談役をつとめられました。

図書館では1階のカウンター前特設コーナーで故人の偉業を讃えて作品および関連資料を展示しています。



貸出期間について

ただいま長期貸出の期間中です。

長期貸出対象	貸出冊数	対象資料	実施期間	返却期限日
大学1～3 年生、短大1 年生	5 冊	図書※	3/24(日)まで	4/8(月)

※雑誌は1週間、AV資料は2週間の貸出になります。(通常通り)

※卒業生、健康市民大学生、ライブラリーカード会員、エクステンション受講生など一般の方は変更ありません。

☆卒業年次生、別科生、科目等履修生の貸出期間は3月8日までです。

図書館彙報

父母講演会寄贈雑誌のアンケートへのご協力ありがとうございました。

集計結果をもとに、来年度の購入する雑誌を決定いたします。

- 1月8日 社会科学系学術図書データベース「MOMW-Ⅱ」を導入しました。
- 1月11日 坂戸市図書館協議会に出席しました。
- 1月16日 平成24年度第2回図書館選書委員会を開催しました。
- 1月22日 「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」を導入しました。
- 1月29日 「JDreamⅢ」説明会に参加しました。